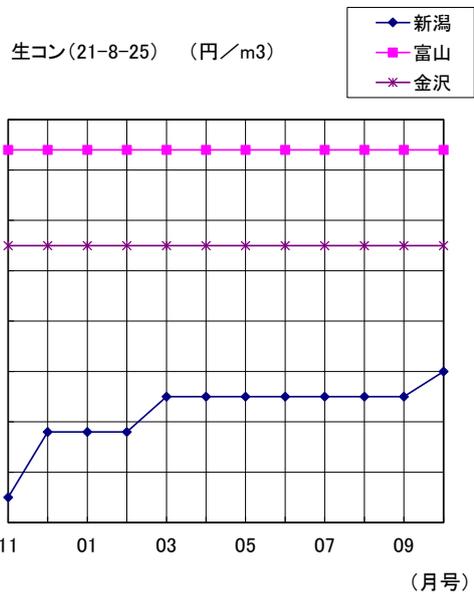
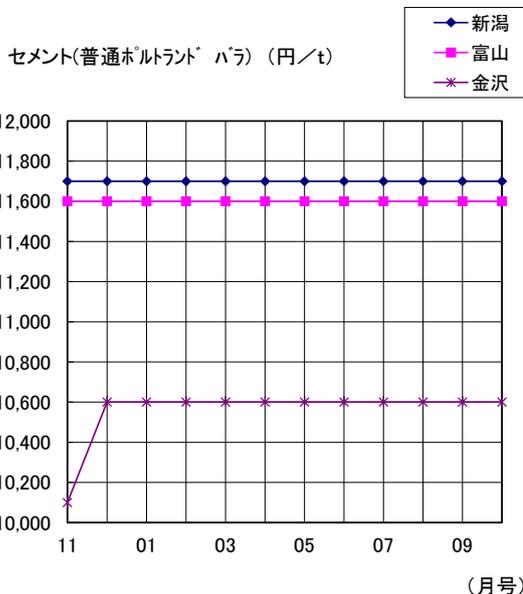


5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

品目	7～9月期の状況と現況	先行き
セメント	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】新潟地区の生コン価格の値戻しが進む中、セメントメーカー各社は生コンメーカー側との価格交渉を継続している。しかし、値上げを受け入れた需要者は一部にとどまり、依然として抵抗は強い。交渉の進展にはまだ時間を要するとみられ、先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】メーカー各社は、値上げの意向を示しているものの、大口需要者である生コンメーカー側との交渉に進展はみられない。生コンメーカー側は受注競争の環境が改善せず、コスト転嫁が図れるか不透明な状況であることから、値上げ受け入れへの抵抗が強い。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【石川県】メーカー各社は、値上げ打ち出しの未達分の確保に向け、売り腰を強めていく意向を示している。しかし、県内の生コン需要は一部の地域を除いて低調に推移していることから、需要者側の購入姿勢は厳しく、具体的な価格交渉の場面には至っていない。ここしばらくは、横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(ハ)物)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
生コンクリート	<p>新潟地区でm3当たり500円上伸</p> <p>【新潟県】新潟生コンクリート協同組合は、2019年から打ち出している「シェア重視から価格重視」の方針を堅持し、非組合員との競争を回避している。2019年11月に組合員のプラントが倒産し、プラント経営が限界に達している状況が浮き彫りになったことなどをを受け、需要者側でも価格より安定供給を優先するムードが高まり、新価格を容認する動きが広まった。価格は、9月に(21-8-25)でm3当たり500円上伸。販売側では引き続き売り腰を堅持する意向であり、先行き、強含み。</p> <p>【富山県】富山生コンクリート協同組合は、原材料である骨材と輸送費の高騰および近年の出荷減による工場固定費負担の増加を理由に、7月契約分からm3当たり1,500円の値上げを表明している。需要者は6月に駆け込みで契約を行っているため、新規契約物件が少なく、価格交渉は本格化していない。また、大口物件では非組合員が受注機会を増やしていることから、交渉の進展にはしばらく時間を要すると見る向きも多い。当面、横ばい推移の見通し。</p> <p>【石川県】金沢地区においては、大型商業施設や図書館、消波ブロックなど需要は堅調に推移している。一方、輪島地区では市役所新築工事や輪島道路のトンネル関連工事向けの出荷が始まったものの、荷動きは盛り上がりや欠く状況が続いている。能登生コンクリート協同組合では、4月から出荷ペースでm3当たり1,500円の値上げを行う意向を示していたが、新規物件が少なく需要者との交渉は本格化するに至っていない。協組側は売り腰を一層強めて需要者に理解を求めていく構え。先行き、強含みで推移しよう。</p>	<p>(21-8-25)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
骨材	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】新潟地区へ主体的に供給を行っている阿賀野川骨材協同組合は、2019年4月から打ち出しているm3当たり一律300円の値上げ浸透に引き続き注力している。しかし、道路用砕石の需要減少は顕著で、需要者側の抵抗は強く、交渉に進展は見られない。当面、現行価格水準を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】富山県骨材販売協組は、国や県の公共事業、市内の民間物件などで需要は堅調に推移していることから、年度を通して昨年並みの出荷量を見込んでいる。こうした中、同協組は供給の安定を図るために、需要者の指し値には応じず、現行価格水準を維持する姿勢を見せている。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【石川県】県内では国道拡幅工事等の大口需要があるものの、引き合いは小口の道路維持・改良工事向けが中心で、荷動きはさえない商状が続いている。需要者側からの値引き要求はあるものの、メーカー側では、出荷量減少に伴う採算悪化の危惧が強まっており、現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(C-40)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>

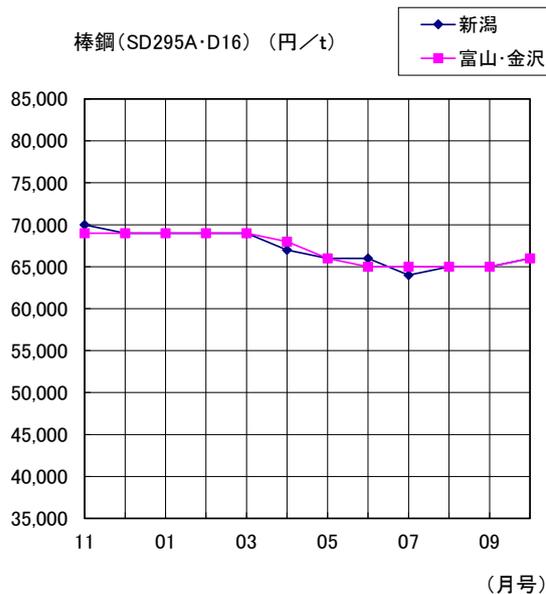
【価格推移】



品目	7～9月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p>富山・石川で強含み</p> <p>【新潟県】スクラップ価格の上昇による製鋼コストの高騰を背景に、メーカーが打ち出した値上げの一部が市場に浸透。価格は7月と9月にそれぞれt当たり1,000円上伸した。しかし、需要の減少に伴う流通間の価格競争に加え、スクラップ価格に天井感が見えてきたことにより、メーカー側の値上げペースは鈍化している。価格帯を押し上げるほどの力強さは見られず、先行き、現行値圏内を横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県・石川県】スクラップ価格が海外相場高を受けて上昇したことから、メーカーは7月に値上げを打ち出した。メーカー側の強気な販売姿勢を受けて、流通側が採算悪化を回避すべく売り腰を強めた結果、価格は9月にt当たり1,000円上伸した。先行き、需要に不透明感が残るものの、流通筋は仕入れ価格上昇分の転嫁に向けて売り腰を緩めておらず、目先、強基調で推移する見通し。</p>	<p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
コンクリート二次製品	<p>先行き、横ばい</p> <p>【新潟県】災害復旧工事向けの河川ブロックは引き続き活発な荷動きが見られるものの、道路用および農業用製品の引き合いはさえない状況が続いている。メーカー各社は、人件費や固定費の上昇を背景とした製造コストの上昇分を製品価格に転嫁したい意向を示しているものの、工事量の減少から交渉の機会に乏しく、具体的な動きは見られない。先行き、現行値圏内を横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】メーカー側は、昨年度の製品価格の上昇は目標の一部浸透に留まっており、原材料費、輸送費の高騰分を製品価格に転嫁しきれていないとしている。このため、4月から再び製品価格引き上げを唱え、需要者側に理解を求めている。今後、メーカー各社が足並みを揃えて価格交渉を展開していけるか注目される。目先、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】メーカー側では、汎用性の高い小型製品の値上げを検討していたが、まずは安易な値引き要求には応じず、市中における安値を是正することから市況改善を目指す意向を示している。需要者側の購買姿勢は厳しいものの、メーカーの取り巻く環境に理解を求め、価格底上げに注力していく構え。先行き、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
アスファルト合材	<p>新潟県で軟化</p> <p>【新潟県】新型肺炎による世界的な原油安の影響によるスト・アス価格の下落を背景に、需要者からの値引き要求は強く、7月に新潟地区の粗粒度(20)でt当たり300円の下落を示した。需要者側からは依然厳しい指し値も散見されるものの、需要低迷で採算悪化を危惧するメーカー側は、安易に値引きに応じず価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県】県・市発注工事、民間工事において目立った大型物件は少ないものの、高速道路舗装工事向けの出荷が続いており、県内需要の下支えとなっている。こうした中、需要者側からの厳しい指し値も散見されるものの、8月下旬にスト・アス価格がやや上昇基調に転じたことから、販売側は採算重視の姿勢を崩しておらず、現行価格維持に傾注している。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【石川県】県内需要は、国道の拡幅工事や上下水道の復旧工事等が中心で、前年度とほぼ同水準で推移している。需要者側からの値引き要請は強いものの、原油価格の上昇を受けてスト・アス価格がやや上昇基調に転じたことから、メーカー各社は売り腰を引き締めて、価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>

【価格推移】

棒鋼(SD295A・D16) (円/t)



合材(粗粒度20mm) (円/t)

